

# NEWS RELEASE

NCL NORWEGIAN  
CRUISE LINE®



## ノルウェーجان・クルーズライン 2018年～2019年のコース展開を発表

ノルウェー جان・エスケープはニューヨークからカリブ海&バミューダに  
ノルウェー ジャン・ブレイクアウェイはコペンハーゲンからスカンジナビア半島&ロシアへ  
ノルウェー ジャン・ブリスはシアトルからアラスカへ  
さらに「死ぬまでにやっておきたいことリスト」デスティネーションには  
ケープホーンやパナマ運河の名前が挙がります

2016年12月

ノルウェー ジャン・クルーズラインは、夢のデスティネーションへ自由、且つフレキシブルなクルーズ体験ができる、2018夏、および2018年～2019年秋冬の旅程を発表しました。ノルウェー ジャンの2018年～2019年のクルーズは、カリブの温暖な海、冒険に満ち溢れた南アメリカ沿岸、アラスカ、ノルウェーの荘厳な氷河など世界中を巡ります。これら新しいクルーズプランは全て販売を開始しています。



### アラスカ



2018年夏、ノルウェー ジャンは最新型の3隻の船で、アラスカの雪山を眺めながら氷河に囲まれた海を進むツアーを再び企画いたしました。2018年6月に完成予定の最新船、**ノルウェー ジャン・ブリス**は2018年のノルウェー ジャン・アラスカ航路のトップバッターとして、毎週土曜日にシアトルを出発する7日間のツアーから就航します。アラスカを巡る最新かつ最大の船舶である**ノルウェー ジャン・ブリス**は、究極のアラスカ・クルーズを実現させるための特別な機能やアメニティーが設置され、またシアトルから航海する初のノルウェー ジャン・クルーズライン船です。ノルウェー ジャン・エッジ・プログラムの一環として2017年に大改修を行う**ノルウェー ジャン・パール**は、日曜日毎にシアトルを出発する7日間のグレイシア・ベイ・アラスカ・クルーズを展開します。そしてアラスカ航路を締めくくるのは**ノルウェー ジャン・サン**です。7日間かけてバンクーバーとスワードを行き来する人気の北行き、南行きのアラスカを巡るツアーは、往復の参加で14日間たっぷりアラスカ地域をご堪能いただけます。

## ヨーロッパ



2018年夏、ノルウェー・クルーズラインの提供する5隻に乗船するゲストは、ヨーロッパを目、耳、舌でたっぷり満喫いただけます。**ノルウェー・ブレイクアウェイ**は、母港ニューヨークを4月15日に出発し、2013年シーズンのデビュー以来初となる12日間のロンドン（サウサンプトン）行き大西洋横断クルーズへと旅立ちます。ヨーロッパに到着後、**ノルウェー・ブレイクアウェイ**はドライドックでさらなる施設の充実化を図り、夏シーズンの母港となるコペンハーゲンへ移動し、夏季期間中、9日間のスカンジナビア&ロシアクルーズを周航します。**ノルウェー・ジェイド**は、2018年夏にヨーロッパへ戻り、ロンドン（サウサンプトン）とハンブルグからノルウェー、アイスランド、ノールカップを巡る、ノルウェーの絶景フィヨルドやブリテン諸島を楽しむクルーズを展開します。**ノルウェー・スピリット**もヨーロッパへ移動し、チヴィタベッキアから少し長めの10日間の西地中海クルーズ、そして11日間の東地中海&アドリア海クルーズで航海を続けます。**ノルウェー・スター**は西海岸からヴェネチアへと場を移し、この水上都市からギリシャの島々をアドリア海&ギリシャの7日間クルーズで巡ります。今年前半に大型のドライドックで大々的な改修工事を行った**ノルウェー・エピック**は再びバルセロナ、チヴィタベッキアから7日間の西地中海クルーズでイタリア、フランス、スペインのベストを皆さまにお届けします。

また2018年～2019年の冬シーズンには、寒さを逃れ、北アフリカのエキゾチックなバザールや、スペイン最高峰であり世界で3番目に大きな火山を有するテネリフェ島をお楽しみいただけるバルセロナからカナリア諸島とモロッコへと航海する10日間、11日間のクルーズを**ノルウェー・スピリット**が展開いたします。

## バミューダ



2018年の4月から9月、ノルウェー・クルーズラインはニューヨークとボストンからピンクの砂浜が待つバミューダへ旅する恒例のクルーズを準備しています。ノルウェー・クルーズラインの最新船、**ノルウェー・エスケープ**は2015年に洗礼を受けてから初めて場所を変え、毎週日曜日にニューヨークからバミューダへ向かう7日間のクルーズを航行します。ニューヨークのゲストはこの新しい船でノルウェー・クルーズライン初の海上醸造パブ、トニー賞受賞のミュージカル『アフター・ミッドナイト』や非常に評価が高い『フォア・ザ・レコード：ザ・ブラット・バック』、そして鉄人シェフのホセ・ガルセスが手掛ける2つのレストランとマイケル・モンダビ・ファミリー・ワインバーの「ザ・セラズ」などをお楽しみいただけます。船首から船尾まで改修作業を行い新造船のように生まれ変わった**ノルウェー・ドーン**は毎週金曜日にボストンからバミューダまで7日間のクルーズに出発します。

## バハマ&フロリダ



2018年夏、**ノルウェー・ジェム**は毎週土曜日に、最高のビーチ、楽しいテーマパーク、そしてあふれる太陽の光を求め、ニューヨークシティからバハマ&フロリダへと出港します。**ノルウェー・スカイ**はマイアミからバハマへ向かう3日間、または4日間のクルーズを一年中周航し、ゲストはプライベート・アイランド・リゾートであるグレイ

ト・スターラップ・キーで一日お楽しみいただけます。グレイト・スターラップ・キーは現在改修作業が行われており、ハイブンのゲスト専用のラグジュアリーなラグーンをはじめ、施設の充実、カバナのプレミアム仕様、そしてさらに家族向けのアメニティーが拡大されています。

2018年～2019年冬、**ノルウェージャン・エスケープ**はニューヨークに留まり、バハマとフロリダのあたたかなビーチに向かう7日間のクルーズへとゲストをお連れいたします。**ノルウェージャン・ブレイクアウェイ**もヨーロッパからニューヨークへ戻り、2018年～2019年冬シーズンはマンハッタンから同じく7日間のバハマ&フロリダ・クルーズを航行します。

## カリブ海



2018年～2019年、7隻のノルウェージャン船がカリブ海へと向かいます。出発する港もニューヨーク、ボストン、ポート・カナベラル、サン・フワン、マイアミ、ニュー・オーリンズ、そしてタンパ、と様々にあり、便利な場所をお選びいただけます。

2018年12月から2019年2月、**ノルウェージャン・エスケープ**はニューヨークから少し長めの12日間、14日間の南カリブ海クルーズ、そして14日間の西カリブ海クルーズへと出発し、ベリーズに完成した新しいリゾートスタイルの寄港地、ハーヴェスト・キーを訪れます。イージーアクセスのクルーズ船用埠頭、7エーカーにわたり広がるホワイトサンドのビーチ、約1,390㎡もの広さを誇るプール、さらに様々なエコフレンドリー・アドベンチャーがゲストをお待ちしています。**ノルウェージャン・ブレイクアウェイ**も真冬のニューヨークから太陽があたたかい東カリブ海へと向かう10日間、11日間のクルーズを予定しており、ヴァージン諸島などを訪れながら豪華なバケーションをお過ごしいただけます。また2018年10月には**ノルウェージャン・ドーン**がニューイングランド地方のゲストをボストンからカリブ海向かう14日間の東カリブ海クルーズへとお連れします。

**ノルウェージャン・ジェム**はニュー・オーリンズに戻り、クレッセント・シティー（ニューオーリンズの愛称）から7日間、10日間、11日間の西カリブ海クルーズを航行します。2018年冬にマイアミから出発するゲストは**ノルウェージャン・ゲッタウェイ**に乗船し、ハーヴェスト・キーにも寄港する7日間の西カリブ海クルーズをお楽しみください。**ノルウェージャン・パール**は、2018年冬はタンパを母港とし、7日間のクルーズで西カリブ海を周航します。

2018年～2019年の冬シーズン、プエルトリコのサン・フアンを母港とする**ノルウェージャン・ドーン**は、バルバドス、セント・ルシア、アンティグア等に寄港する7日間、10日間、11日間の南カリブ海クルーズを航行します。また他にも2018年11月から2019年4月までの間、**ノルウェージャン・ジェイド**がマイアミから南カリブ海を訪れる10日間のクルーズを数本予定しています。

**ノルウェージャン・エピック**は2018年秋にポート・カナベラルに戻り、7日間の東カリブ海クルーズと西カリブ海クルーズを交互に行います。さらに2018年11月から2019年1月の期間には、ハーヴェスト・キーに寄港する10日間、11日間の西カリブ海クルーズを航行します。ノルウェージャンの所有するプライベートアイランド、グレイト・スターラップ・キーへの旅をお望みのゲストは、**ノルウェージャン・エピック**が2019年3月に予定しているポート・カナベラルから出発の4日間のバハマ・クルーズと5日間の西カリブ海クルーズに是非ご乗船ください。こちらのクルーズではコスメルとグレイト・スターラップ・キーに寄港します。

## カナダ&ニューイングランド地方



ノルウェージャンは、2018年秋にカナダとニューイングランド地方の美しい自然風景を楽しむツアーを3隻をご用意。**ノルウェージャン・エスケープ**はノルウェージャン最大の船舶として、2018年9月に秋の美しい樹木の景色を楽しむ7日間のカナダ&ニューイングランド・クルーズをニューヨークから航行します。パインツリー・ステート（メイン州の愛称）やグレート・ホワイト・ノース（カナダの愛称）を巡る夏のクルーズをお探しのゲストには、2018年6月にビッグ・アップル（ニューヨークの愛称）を出港する**ノルウェージャン・ジェム**の2本の7日間クルーズをご用意しています。こちらのクルーズは北方面に出発した後、メイン州、セント・ジョン、ハリファックスに寄港します。カナダとニューイングランドをより深く探検したいゲストは同じく**ノルウェージャン・ジェム**がニューヨークから10日間かけて周航するクルーズに乗船することで、ケベック市に1泊することが可能です。また**ノルウェージャン・ドーン**はボストンとケベックの間を周航する7日間の北行き、南行きの7日間のクルーズを航行するので、往復すると14日間続く究極のパケーションとしてお楽しみいただけます。

## ハワイ



れています。

改修されたばかりの**プライド・オブ・アメリカ**は、人気の高い7日間のハワイ航路を継続します。毎週土曜にホノルルを出発するコースは2019年5月まで周航する予定です。100時間以上の立ち寄り観光時間があるこの航路はマウイ島のカフルイ、ハワイ島のヒロ、ハワイ島のコナ、カウアイ島のナウリウリに宿泊をし、また美しいナ・パリ・コーストを午後クルーズするなど、ゆったりと各島を巡る機会にあふ

## パナマ運河とメキシカン・リビエラ



真の「やっておきたい体験」としてお勧めが、ノルウェージャンの3隻を利用し、片道でも往復でもお楽しみいただける2018年～2019年パナマ運河のクルーズです。**ノルウェージャン・ジェイド**と**ノルウェージャン・パール**は11日間と14日間の往復運河クルーズへタンパとマイアミから出発し、乗船すれば現代の七不思議の一つをその目でご覧いただけます。さらにゆっくりとパナマ運河クルーズを楽しみたいというゲストには2019年の1月から3月の間にマイアミまたはロサンゼルスをそれぞれ出航する**ノルウェージャン・スター**の14日間の片道クルーズに乗船すると、日中にパナマ運河を航行する機会が訪れます。さらに**ノルウェージャン・パール**は2018年10月にロサンゼルスからタンパへと向かう15日間の片道クルーズが予定されています。

太陽いっぱいの楽しいクルーズを求めるゲストには、2018年12月と2019年の3月にロサンゼルスから出発する7日間のメキシカン・リビエラ・クルーズがあります。こちらのクルーズではプエルト・バジャルタやマサラン、そしてカボ・サン・ルーカスなどの都市をお楽しみいただけます。

## 南アメリカ



ノルウェー・サンは2018年～2019年の冬、再び南アメリカへと戻り、西回り、東回りの14日間の旅でチリのバルパライソとアルゼンチンのブエノスアイレスの間を、ケーブホーンやティエラ・デル・フエゴの美しいフィヨルドを巡りながら旅します。

最高のエンターテインメント、アクションあふれるアドベンチャー、幅広いダイニング・オプション等、自分だけのペースで全てのアトラクションにトライ、またはのんびりと過ごすクルーズライフ。そんな『フィール・フリー』な旅をしながら、夢のデスティネーションへとお連れできるのはノルウェー・サンだけです。

[www.ncl.com](http://www.ncl.com)、E-mail : [res.apac@rssc.com](mailto:res.apac@rssc.com) または最寄りの旅行代理店までどうぞ。

### ノルウェー・サン・クルーズラインに関して

ノルウェー・サン・クルーズラインは50年前の誕生以来、従来のクルーズの概念を打ち破るクルーズ界のイノベーターと呼ばれてきました。中でも、ノルウェー・サンのもたらした画期的な変化はクルーズでありながら、乗船しているゲストがそれぞれのスケジュールに合わせて理想のクルーズを組み立てられることです。現在、14隻を有するノルウェー・サンは、クルーズのリラックスしたリゾートスタイルを人々が「自由に（フィールフリー）」体験いただけるよう、目的に沿った最新の設備が揃った船をご用意してお待ちしています。

ノルウェー・サン・クルーズラインは、ワールド・トラベル・アワードにおいて、9年連続で「ヨーロッパのトップ・クルーズライン」に選ばれており、また「カリブ海のトップ・クルーズライン」に3回、そして「世界最高の大型船クルーズライン」に5年連続で選出されています。

Facebook, Instagram, Youtube は@NorwegianCruiseLine  
Twitter, Periscope, Snapchat は@CruiseNorwegian  
各種画像は [www.ncl.com/pressroom](http://www.ncl.com/pressroom) よりダウンロードいただけます

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記までどうぞ：

ケントス・ネットワーク / 担当: 小原由起子

Email : [yukiobara3@kentosnetwork.co.jp](mailto:yukiobara3@kentosnetwork.co.jp) phone : 03-3403-5328